

日本歯周病学会第4回北海道地区臨床研修会開催報告

北海道大学大学院歯学研究科歯周・歯内療法学教室
特任教授 川浪雅光

平成27年2月22日、北海道で4回目の臨床研修会を札幌市、北海道歯科医師会館にて下記の通り開催しました。

テーマ：歯周治療で生涯健口ライフをサポート

主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会

共催：一般社団法人 北海道歯科医師会

大会長 北海道歯科医師会会長 富野 晃

実行委員長：川浪雅光（北海道大学大学院歯学研究科歯周・歯内療法学教室 特任教授）

運営事務局：北海道大学大学院歯学研究科歯周・歯内療法学教室内（担当：菅谷 勉）

日時：平成27年2月22日（日曜日）10:00～16:00

会場：北海道歯科医師会館

プログラム：

- 教育講演1 「歯周基本治療～メンテナンス：歯肉縁上プラークコントロールを効果的に行うには」古市保志：北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系 歯周歯内治療学分野 教授
- 教育講演2 「歯周基本治療～メンテナンス：歯肉縁下への確実な対応を考える」沼部幸博：日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座 教授
- ランチョンセミナー 「化学的プラークコントロールを応用した歯周治療 -Systema SP-T シリーズの臨床的活用法について-」三上 格：みかみ歯科・矯正歯科医院 日本歯周病学会専門医
- 歯科衛生士教育講演 「患者さんの健康寿命を支援する歯周基本治療」佐藤昌美：札幌市池田歯科クリニック 日本歯周病学会認定歯科衛生士
- テーブルクリニック 「歯周組織再生を狙った歯周外科手術」菅谷 勉：北海道大学大学院歯学研究科歯周・歯内療法学教室 准教授
- ポスター発表

冬の札幌開催で天候が心配されましたが、青空の下で開催することができました。当日は250名にもおよぶ大勢の歯科医療関係者が集結し、広いホールもたちまちに満員となり、準備した椅子が足りずに急遽用意するほどで、お陰さまで大変熱気につつまれた研修会となりました。

本研修会は、池田雅彦研修委員長のお計らいで、北海道歯科医師会会長富野晃先生に大

会長を務めていただき、北海道大学大学院歯学研究科歯周・歯内療法学教室がお世話をさせていただくことで、私が実行委員長、菅谷勉准教授が準備委員長として、教室員の総力を挙げて開催させていただきました。

研修会のテーマは「歯周治療で生涯健口ライフをサポート」です。これは歯科医師による歯周基本治療を通して、歯周病患者さんにとっての健康な口への期待と自信を高め、またメンテナンスを通して患者さんの生涯にわたる健康サポートを行って、歯科医師と歯科治療が患者さんの生涯にわたって寄り添う大きな力となろうというものであります。

はじめに富野大会長、ならびに日本歯周病学会理事長の永田先生にご挨拶を頂いたのち、教育講演として北海道医療大学教授の古市保志先生、および日本歯科大学教授の沼部幸博先生に、それぞれ歯肉縁上、縁下のプラークコントロールについて最新のエビデンスを交えながらご講演頂きました。歯周病治療の根幹となる内容だけに参加者も熱心に聞き入っておりました。続いてお昼に苫小牧市開業の三上格先生のランチョンセミナーが開催され、午後は菅谷勉先生のGTR法や再生治療などの歯周外科に関するテーブルクリニック、ならびに札幌市池田歯科にて歯科衛生士としてご活躍されています佐藤昌美先生の歯周治療に関する衛生士教育講演が開かれ、患者との信頼関係の重要性をご講演頂きました。参加者からも多くの質問があり大変盛り上がりました。

最後にポスター症例発表を行いました。全部で14枚のポスター発表があり、歯周治療についての活発なディスカッションが行われました。企業も5社が参加して、新しい歯科器具や材料の展示を行いました。

北海道では60名の歯周病専門医、26名の歯周病認定医、18名の認定歯科衛生士がご活躍されておりますが、広い北海道にはまだまだ数が足りないと言わざるを得ません。今回の研修会をきっかけに、北海道の多くの歯科医師、歯科衛生士が歯周病に関する生涯研修を継続していただけるようお願いしております。

以上北海道における第4回臨床研修会のご報告とさせていただきます。

